

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（設定日：2003年6月27日）
運用方針	外国投資信託証券を中心に投資を行い、グローバルな株式市場（除く、日本）の動きをとらえることを目標に運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 バンガード・グロース・インデックス・ファンド（ETF・シェアクラス） 米国株式 バンガード・バリュエーション・インデックス・ファンド（ETF・シェアクラス） 米国株式 バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド（ETF・シェアクラス） 欧州株式 バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド（ETF・シェアクラス） 新興国株式

当ファンドの運用方法	<p>■日本を除く世界主要国の株式に実質的に投資し、グローバルな株式市場（日本を除く）の動きをとらえることを目標に運用を行います。</p> <p>■ファンド・オブ・ファンズの仕組みを採用し、既に実績のあるファンドを活用することで、効率的な分散投資を行います。</p> <p>■主として、バンガードが設定・運用するインデックス型の4つの米ドル建て米国籍外国投資信託証券に投資します。</p> <p>■バンガードの4つのインデックス・ファンドの基本配分比率は、日本を除くグローバルな株式市場の時価総額等を勘案して、概ね以下の比率で投資を行います。</p> <table><tr><td>バンガード・グロース・インデックス・ファンド……</td><td>約32.5%</td></tr><tr><td>バンガード・バリュエーション・インデックス・ファンド……</td><td>約32.5%</td></tr><tr><td>バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド……</td><td>約30.0%</td></tr><tr><td>バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド……</td><td>約5.0%</td></tr></table> <p>※時価総額等を勘案して基本配分比率は将来的に見直しを行うことがあります。</p>	バンガード・グロース・インデックス・ファンド……	約32.5%	バンガード・バリュエーション・インデックス・ファンド……	約32.5%	バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド……	約30.0%	バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド……	約5.0%
バンガード・グロース・インデックス・ファンド……	約32.5%								
バンガード・バリュエーション・インデックス・ファンド……	約32.5%								
バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド……	約30.0%								
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド……	約5.0%								

組入制限	<p>■株式への直接投資は行いません。</p> <p>■外貨建資産への投資には、制限を設けません。</p>
------	---

分配方針	<p>■年1回（原則として毎年4月5日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。</p> <p>■分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</p> <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>
------	--

三井住友DS・海外株式ETFファンド

【運用報告書(全体版)】

(2022年4月6日から2023年4月5日まで)

第 20 期

決算日 2023年4月5日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは外国投資信託証券を中心に投資を行い、グローバルな株式市場（除く、日本）の動きをとらえることを目標に運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			投資信託証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率		
	円	円	%	%	百万円
16期(2019年4月5日)	23,394	400	9.5	98.2	21,383
17期(2020年4月6日)	18,837	220	△18.5	96.7	16,708
18期(2021年4月5日)	30,230	420	62.7	97.1	26,222
19期(2022年4月5日)	35,444	540	19.0	98.3	31,594
20期(2023年4月5日)	35,061	250	△0.4	98.2	32,431

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

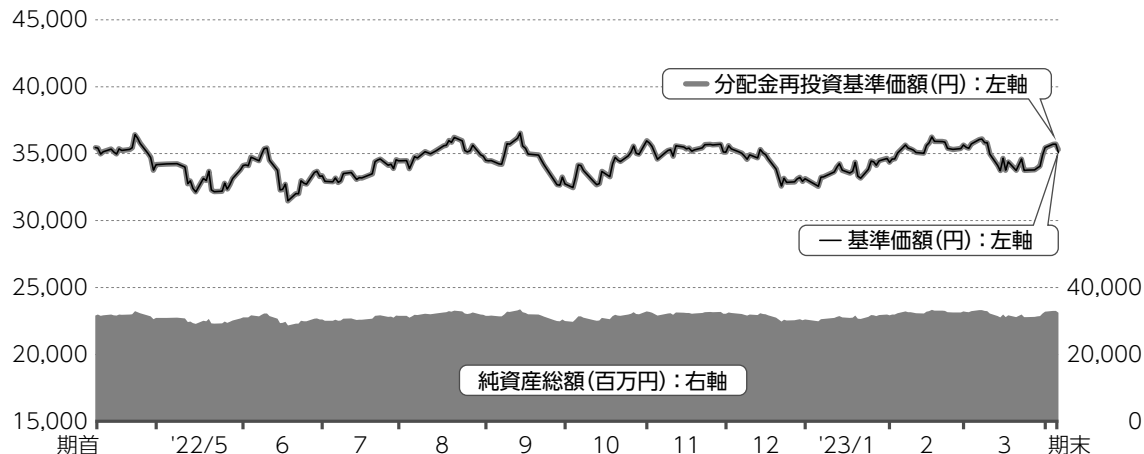
年月日	基準価額		投資信託証券 組入比率
		騰落率	
(期首) 2022年4月5日	円 35,444	% -	% 98.3
4月末	34,174	△3.6	96.9
5月末	34,115	△3.7	98.1
6月末	33,343	△5.9	97.7
7月末	34,455	△2.8	98.2
8月末	34,495	△2.7	98.3
9月末	32,745	△7.6	97.5
10月末	35,964	1.5	98.0
11月末	35,114	△0.9	98.1
12月末	33,126	△6.5	98.3
2023年1月末	34,356	△3.1	98.5
2月末	35,646	0.6	98.6
3月末	35,449	0.0	97.6
(期末) 2023年4月5日	35,311	△0.4	98.2

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2022年4月6日から2023年4月5日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	35,444円
期末	35,061円 (既払分配金250円(税引前))
騰落率	-0.4% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2022年4月6日から2023年4月5日まで)

当ファンドは、主として、バンガードが設定・運用するインデックス型の4つの米ドル建て米国籍外国投資信託証券を通じて日本を除く世界主要国の株式に実質的に投資し、グローバルな株式市場(日本を除く)の動きをとらえることを目標に運用を行いました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- 米ドルが円に対して上昇したこと

下落要因

- 米国株式市場、新興国株式市場が下落したこと

投資環境について(2022年4月6日から2023年4月5日まで)

外国株式市場は、欧州株式は上昇した一方で、米国株式や新興国株式は下落しました。また為替市場では、米ドルは円に対して上昇しました。

米国株式市場

米国株式市場は、下落しました。

期初から6月中旬にかけては、インフレ懸念の高まりからFRB(米連邦準備制度理事会)による金融政策が積極的な利上げ姿勢へ転じたことから金利が上昇し、バリュエーション(投資価値評価)調整から成長株主導で下落しました。その後、FRBによる利上げペースの緩和期待や堅調な企業の決算発表に伴い反発する局面もみられ、一進一退の展開となりましたが、期を通じてみると、米国株式市場は下落しました。

欧州株式市場

欧州株式市場は、上昇しました。

期初から10月中旬にかけては、世界各国の中央銀行の金融政策が積極的な利上げ姿勢へと転じたことから、米国株に連れる形となり、下落基調で推移しました。しかし、その後は中国の経済再開、欧州のソフトランディング(軟着陸)期待などの高まりにより株式市場は大きく上昇しました。期末には米国での銀行破綻に欧州での大手金融機関の経営不安の報道が重なったことで、リスク回避の動き

が強まり下落する局面もありましたが、期を通じてみると、欧州株式市場は上昇しました。

新興国株式市場

新興国株式市場は、下落しました。

世界各国の中央銀行による利上げなどに伴い、期初から10月下旬までは下落基調で推移しました。その後は、中国の景気回復期待などから、上昇基調で推移しました。期末には、欧米の金融不安の高まりから、欧米株式市場につられて下落し、期を通じてみると、新興国株式市場は下落しました。

為替市場

米ドル・円は、米ドル高・円安となりました。

期初から10月上旬にかけては、FRBが金融引き締めを積極化した一方で、日銀が緩和姿勢を継続したことによる日米金利差拡大などを背景に米ドル高・円安基調となりました。その後、日銀が予想外に長期金利の許容変動幅を広げたことや、リスク回避姿勢の高まりを受けて、米ドル安・円高方向に推移する局面もありましたが、期を通じてみると、米ドル高・円安となりました。

ポートフォリオについて (2022年4月6日から2023年4月5日まで)

当ファンド

運用の基本方針に基づきグローバルな株式市場(除く日本)の時価総額を勘案して設定した基本配分比率に沿って下記の4つの投資信託に資産配分を行いました。追加設定や一部解約に伴う入出金がある場合は、保有現金残高などを考慮した上で売買を行い、組入比率の調整を行いました。

バンガード・グロース・インデックス・ファンド (E T F ・ シェアクラス)

米国成長株のインデックスであるC R S P U S ラージ・キャップ・グロース・インデックスをベンチマークとし、ベンチマークのパフォーマンスへの連動を目指して運用を行いました。

バンガード・バリュー・インデックス・ファンド (E T F ・ シェアクラス)

米国割安株のインデックスであるC R S P U S ラージ・キャップ・バリュー・インデックスをベンチマークとし、ベンチマークのパフォーマンスへの連動を目指して運用を行いました。

バンガード・ヨーロッパン・ストック・インデックス・ファンド (E T F ・ シェアクラス)

F T S E 欧州先進国オールキャップ・インデックスをベンチマークとし、ベンチマークのパフォーマンスへの連動を目指して運用を行いました。

バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド (E T F ・ シェアクラス)

F T S E エマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)インデックスをベンチマークとし、ベンチマークのパフォーマンスへの連動を目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2022年4月6日から2023年4月5日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2022年4月6日から2023年4月5日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第20期
当期分配金	250
(対基準価額比率)	(0.71%)
当期の収益	250
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	27,176

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

運用の基本方針に基づき、グローバルな株式市場(除く日本)の時価総額を勘案して設定した基本配分比率に沿って4つの投資信託に資産配分を行います。

バンガード・グロース・インデックス・ファンド
バンガード・バリュー・インデックス・ファンド
バンガード・ヨーロッパン・ストック・インデックス・ファンド
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド
(E T F ・ シェアクラス)

各ファンドとも、ベンチマークとするインデックスのパフォーマンスへの連動を目指して運用を行います。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

1万口当たりの費用明細(2022年4月6日から2023年4月5日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	378円	1.100%	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 期中の平均基準価額は34,393円です。
(投 信 会 社)	(131)	(0.379)	投信会社: ファンド運用の指図等の対価
(販 売 会 社)	(233)	(0.676)	販売会社: 交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(15)	(0.044)	受託会社: ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.005	売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数
(株 式)	(-)	(-)	売買委託手数料: 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(2)	(0.005)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数
(株 式)	(-)	(-)	有価証券取引税: 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公 社 債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	5	0.014	その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.008)	保管費用: 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(2)	(0.005)	監査費用: 監査法人に支払うファンドの監査費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	そ の 他: 信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	385	1.119	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

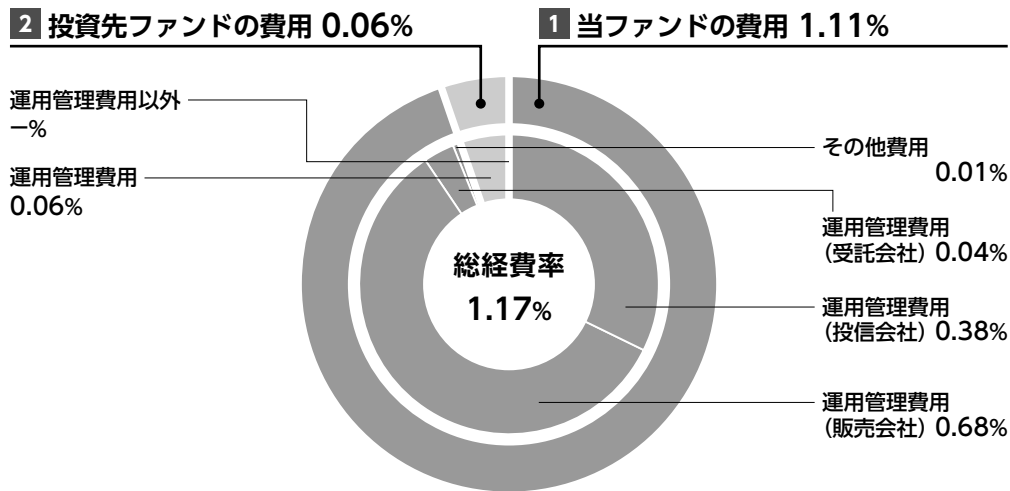
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1 + 2)	1.17%
1 当ファンドの費用の比率	1.11%
2 投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.06%
投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	—%

※ **1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※ **2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、経費率または信託報酬率で、全額を運用管理費用としてしています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※ **1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.17%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況(2022年4月6日から2023年4月5日まで)

投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
外 国	ア メ リ カ	バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド (ETF・シェアクラス)	116,000	6,164	66,500	3,863
		バンガード・グロース・インデックス・ファンド (ETF・シェアクラス)	59,700	13,278	23,750	5,778
		バンガード・バリュー・インデックス・ファンド (ETF・シェアクラス)	37,000	5,177	44,000	6,101

※金額は受渡し代金。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

■ 利害関係人との取引状況等(2022年4月6日から2023年4月5日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年4月6日から2023年4月5日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2023年4月5日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)		期 末		組入比率
	口 数	口 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	口	千アメリカ・ドル	千円	%
バンガード・ヨーロッパ・ストック・ インデックス・ファンド (ETF・シェアクラス)	1,169,344	1,218,844	74,824	9,844,703	30.4
バンガード・グロース・インデックス・ファンド (ETF・シェアクラス)	289,663	325,613	80,905	10,644,679	32.8
バンガード・バリュー・インデックス・ファンド (ETF・シェアクラス)	563,950	556,950	76,881	10,115,282	31.2
バンガード・エマージング・マーケット・ストック・ インデックス・ファンド (ETF・シェアクラス)	234,830	234,830	9,536	1,254,710	3.9
合 計	2,257,787	2,336,237	—	31,859,375	98.2

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

■ 投資信託財産の構成

(2023年4月5日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 証 券	千円	%
投 資 証 券	31,859,375	97.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	992,946	3.0
投 資 信 託 財 産 総 額	32,852,322	100.0

※期末における外貨建資産(32,027,263千円)の投資信託財産総額(32,852,322千円)に対する比率は97.5%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=131.57円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年4月5日現在)

項目	期末
(A) 資産	32,852,322,015円
コール・ローン等	992,946,551
投資証券(評価額)	31,859,375,464
(B) 負債	420,491,451
未払収益分配金	231,249,622
未払解約金	13,954,907
未払信託報酬	174,410,870
その他未払費用	876,052
(C) 純資産総額(A-B)	32,431,830,564
元本	9,249,984,918
次期繰越損益金	23,181,845,646
(D) 受益権総口数	9,249,984,918口
1万口当たり基準価額(C/D)	35,061円

※当期における期首元本額8,914,116,072円、期中追加設定元本額1,011,430,252円、期中一部解約元本額675,561,406円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	当期
	250円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

■ 損益の状況

(自2022年4月6日 至2023年4月5日)

項目	当期
(A) 配当等収益	587,299,704円
受取配当金	583,960,569
受取利息	3,446,986
支払利息	△ 107,851
(B) 有価証券売買損益	△ 254,668,594
売買益	2,410,794,290
売買損	△ 2,665,462,884
(C) 信託報酬等	△ 350,563,863
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 17,932,753
(E) 前期繰越損益金	13,508,673,860
(F) 追加信託差損益金	9,922,354,161
(配当等相当額)	(11,624,174,400)
(売買損益相当額)	(△ 1,701,820,239)
(G) 合計(D+E+F)	23,413,095,268
(H) 収益分配金	△ 231,249,622
次期繰越損益金(G+H)	23,181,845,646
追加信託差損益金	9,922,354,161
(配当等相当額)	(11,624,174,400)
(売買損益相当額)	(△ 1,701,820,239)
分配準備積立金	13,514,160,079
繰越損益金	△ 254,668,594

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	236,735,841円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	11,624,174,400
(d) 分配準備積立金	13,508,673,860
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	25,369,584,101
1万口当たり当期分配対象額	27,426.62
(f) 分配金	231,249,622
1万口当たり分配金	250

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

■ 組入れ投資信託証券の内容

● 投資方針等

ファンド名	バンガード・グロース・インデックス・ファンド（ETF・シェアクラス）
形態	米国籍上場投資信託（米ドル建て）
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●パッシブ運用（インデックス運用）され、米国成長株のインデックスであるCRSP US ラージ・キャップ・グロース・インデックスのパフォーマンスへの一致を目指します。 ●インデックスを構成する株式銘柄を、インデックスとほぼ同じ構成割合で保有します。
ベンチマーク	CRSP US ラージ・キャップ・グロース・インデックス
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ●限られた範囲で、株式先物、オプション契約、ワラント、転換証券、およびスワップ契約といったデリバティブに投資することができます。投機目的ではこれらのデリバティブを利用しません。 ●一時的または緊急の目的のために純資産の10%を超えない範囲で行う場合を除き、借入れは行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、諸経費等控除後の利子・配当収入および売却実現益等の全額とします。通常年4回（3月、6月、9月、12月）分配対象額の全額を分配します。
管理費用 ^{※1}	年0.04%
運用会社	ザ・バンガード・グループ・インク
購入の可否 ^{※2}	日本において一般投資者の購入が可能です。

※1 管理費用とは各ETFの運用管理費用およびその他費用を各ETFの平均純資産総額で除したもので、本書の数値は各ETFの直近の目論見書等で開示されているものです（以下同じ。）。

※2 外国籍のETFは、海外の上場有価証券を取り次ぐことのできる証券会社を通じて、日本国内の一般の投資者が、直接、購入することができるものがあります。直接購入される際は、売買委託手数料（証券会社ごとに異なります。）がかかります。また、円貨と外貨を交換する際に、証券会社が別途定める手数料がかかります（以下同じ。）。

ファンド名	バンガード・バリュース・インデックス・ファンド（ETF・シェアクラス）
形態	米国籍上場投資信託（米ドル建て）
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●パッシブ運用（インデックス運用）され、米国割安株のインデックスであるCRSP US ラージ・キャップ・バリュース・インデックスのパフォーマンスへの一致を目指します。 ●インデックスを構成する株式銘柄を、インデックスとほぼ同じ構成割合で保有します。
ベンチマーク	CRSP US ラージ・キャップ・バリュース・インデックス
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ●限られた範囲で、株式先物、オプション契約、ワラント、転換証券、およびスワップ契約といったデリバティブに投資することができます。投機目的ではこれらのデリバティブを利用しません。 ●一時的または緊急の目的のために純資産の10%を超えない範囲で行う場合を除き、借入れは行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、諸経費等控除後の利子・配当収入および売却実現益等の全額とします。通常年4回（3月、6月、9月、12月）分配対象額の全額を分配します。
管理費用	年0.04%
運用会社	ザ・バンガード・グループ・インク
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

三井住友DS・海外株式ETFファンド

ファンド名	バンガード・ヨーロッパ・ストック・インデックス・ファンド（ETF・シェアクラス）
形態	米国籍上場投資信託（米ドル建て）
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●パッシブ運用（インデックス運用）され、FTSE欧州先進国オールキャップ・インデックスのパフォーマンスへの一致を目指します。 ●インデックスを構成する株式銘柄を、インデックスとほぼ同じ構成割合で保有します。
ベンチマーク	FTSE欧州先進国オールキャップ・インデックス
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ●限られた範囲で、株式先物、オプション契約、ワラント、転換証券、およびスワップ契約といったデリバティブに投資することができます。投機目的ではこれらのデリバティブを利用しません。 ●一時的または緊急の目的のために純資産の10%を超えない範囲で行う場合を除き、借入れは行いません。 ●為替市場の変動による影響を避けるため、対米ドルでの為替ヘッジを行う場合があります。
分配方針	分配対象額の範囲は、諸経費等控除後の利子・配当収入および売却実現益等の全額とします。通常年4回（3月、6月、9月、12月）分配対象額の全額を分配します。
管理費用	年0.08%
運用会社	ザ・バンガード・グループ・インク
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

ファンド名	バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド（ETF・シェアクラス）
形態	米国籍上場投資信託（米ドル建て）
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●パッシブ運用（インデックス運用）され、FTSEエマージング・マーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックスのパフォーマンスへの一致を目指します。 ●通常概ねすべて（最低でも95%）の資産を、インデックスを構成する株式銘柄に投資します。 ●インデックスを構成する株式のうち、代表的な銘柄を保有します。
ベンチマーク	FTSEエマージング・マーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックス
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ●限られた範囲で、株式先物、オプション契約、ワラント、転換証券、およびスワップ契約といったデリバティブに投資することができます。投機目的ではこれらのデリバティブを利用しません。 ●一時的または緊急の目的のために純資産の10%を超えない範囲で行う場合を除き、借入れは行いません。 ●為替市場の変動による影響を避けるため、対米ドルでの為替ヘッジを行う場合があります。
分配方針	分配対象額の範囲は、諸経費等控除後の利子・配当収入および売却実現益等の全額とします。通常年4回（3月、6月、9月、12月）分配対象額の全額を分配します。
管理費用	年0.08%
運用会社	ザ・バンガード・グループ・インク
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

※CRSP US ラージ・キャップ・グロス・インデックスおよびCRSP US ラージ・キャップ・バリュエーション・インデックスはシカゴ大学証券価格調査センター（CRSP）、FTSE欧州先進国オールキャップ・インデックスおよびFTSEエマージング・マーケット・オールキャップ（含む中国A株）インデックスはFTSEインターナショナル・リミテッドが、それぞれ公表している指数です。

※各インデックスに関する知的所有権その他一切の権利は、指数を公表する各社に帰属します。また、当該各社は当ファンドの運用に関して責任を負うものではありません。

●直近決算概要

バンガード・グロース・インデックス・ファンド（E T F・シェアクラス）

（計算期間：2022年1月1日～2022年12月31日）

組入上位銘柄

（基準日：2022年12月31日）

銘柄名	組入比率
Apple Inc.	12.5%
Microsoft Corp.	11.4%
Alphabet Inc.	6.3%
Amazon.com Inc.	4.6%
NVIDIA Corp.	2.2%
Tesla Inc.	2.1%
Visa Inc.	2.1%
Home Depot Inc.	2.1%
Mastercard Inc.	1.9%
Thermo Fisher Scientific Inc.	1.4%
全銘柄数	253銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合

費用明細

項目	比率
エクスペンス・レシオ	0.04%

※エクスペンス・レシオとはファンドの運用管理費用および
 その他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。
 ※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

バンガード・バリュー・インデックス・ファンド（E T F・シェアクラス）

（計算期間：2022年1月1日～2022年12月31日）

組入上位銘柄

（基準日：2022年12月31日）

銘柄名	組入比率
Berkshire Hathaway Inc.	3.1%
UnitedHealth Group Inc.	2.9%
Johnson & Johnson	2.7%
Exxon Mobil Corp.	2.7%
JPMorgan Chase & Co.	2.3%
Procter & Gamble Co.	2.1%
Chevron Corp.	1.8%
Pfizer Inc.	1.7%
AbbVie Inc.	1.7%
Merck & Co. Inc.	1.6%
全銘柄数	342銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合

費用明細

項目	比率
エクスペンス・レシオ	0.04%

※エクスペンス・レシオとはファンドの運用管理費用および
 その他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。
 ※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

バンガード・ヨーロッパン・ストック・インデックス・ファンド

(E T F・シェアクラス)

(計算期間：2021年11月1日～2022年10月31日)

組入上位銘柄

(基準日：2022年9月30日)

銘柄名	組入比率
Nestle SA	3.4%
Roche Holding AG	2.7%
Shell plc	2.1%
ASML Holding NV	1.9%
AstraZeneca plc	1.9%
Novartis AG	1.8%
Novo Nordisk A/S	1.8%
LVMH Moet Hennessy Louis Vuitton SE	1.7%
TotalEnergies SE	1.3%
HSBC Holdings plc	1.2%
全銘柄数	1,368銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合

費用明細

項目	比率
エクスペンス・レシオ	0.11%

※エクスペンス・レシオとはファンドの運用管理費用および
 その他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。
 ※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

バンガード・エマージング・マーケット・ストック・インデックス・ファンド

(E T F・シェアクラス)

(計算期間：2021年11月1日～2022年10月31日)

組入上位銘柄

(基準日：2022年9月30日)

銘柄名	組入比率
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd.	5.1%
Tencent Holdings Ltd.	3.3%
Alibaba Group Holding Ltd.	2.4%
Reliance Industries Ltd.	1.6%
Meituan	1.4%
Infosys Ltd.	1.0%
JD.com Inc.	1.0%
China Construction Bank Corp.	0.9%
Petroleo Brasileiro SA	0.9%
Vale SA	0.8%
全銘柄数	5,574銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合

費用明細

項目	比率
エクスペンス・レシオ	0.08%

※エクスペンス・レシオとはファンドの運用管理費用および
 その他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。
 ※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。